

総合的な学習の時間における情報機器の活用

幡羅中学校

1 題材名 社会体験学習 3 days チャレンジ 第2学年（総合的な学習の時間）

2 題材の目標

- ・自ら学び、生き方を考え、自分を生かす。
- ・5つのふれあいを通して、豊かな人間性を育み、社会の一員としての資質を育てる。

3 指導計画の概要

段階	活動内容	情報機器の活用
情報接し課題を設定する段階 (12時間)	オリエンテーション (1時間) 学び方学習 (10時間) ・情報収集の仕方(文献調査) (インターネット) ・コミュニケーション能力 (電話、インタビューの仕方) (話し合いの進め方、ディベート) ・まとめ、発表の仕方(報告書) (プレゼンテーション) 学習課題の設定について学ぶ (1時間)	・PC(インターネット) ・PC(パワーポイント)
課題を追求する段階 (12時間)	・学習課題の設定 (6時間) ・体験学習への取り組み(6時間)	・デジタルカメラ、ビデオカメラ
結果をまとめる段階 (6時間)	・報告書の作成と発表の準備 (4時間) ・学習結果のまとめ (2時間)	・PC(パワーポイント)
他に働きかけていく段階 (3時間)	・発表 (2時間) ・学習のまとめと反省 (1時間)	・PC(パワーポイント) ・プロジェクター

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

本校の総合的な学習の時間の目標は、豊かな人間性を身につけ、社会の一員としての資質を育てる、自ら学び、生き方を考え、自分を生かすことができる、である。この目標のもとに、2年生の目指す生徒像は、まわりと共に学び合い、多様な課題解決を図る生徒とした。

生徒が学習活動を進める上で、調査力、情報活用能力、自己表現力の育成のために情報教

育機器を活用することにより、より大きな効果が期待できる。

本取り組みでは、情報収集のための手段としてインターネット、記録のためにデジタルカメラ、まとめ、発表の手段としてパワーポイントを活用した。あくまでも情報機器は手段の一つとして紹介し、活用は生徒に主体的に選択させた。

5 成果と課題

課題の設定の段階では、インターネットの活用は効果的であった。様々な情報を収集する中から、生徒の興味関心が湧き、課題の追求にむけての体験学習が内容の濃いものになった。

記録でもデジタルカメラを有効に利用し、まとめをパワーポイントで行った者はもちろん、模造紙にまとめた者も写真を手軽に、効果的に使用していた。

パワーポイントを用いてまとめをし、発表したものは多くはなかったが、見る者を飽きさせない作品に仕上げていた。しかし、画面の効果やデザインに凝り、作成が時間内に終わらない者も少なくなかった。今後は、ソフトの使い方だけでなく、効果的なプレゼンテーションの方法についても指導していきたい。

6 授業の様子

各グループがパワーポイントによるプレゼンテーションと、模造紙による発表を行った。パワーポイントの作成はグループの代表者が行った。

【発表画面】



【発表風景】

